

ばクロード・ショツプは平和に組織せらるゝが、雇主が之に反抗すれば同盟罷業の場に出て、之が貫徹を要する。

しかし此のやう口は常にこの順調に進行しない場合がある。時に依ると雇主は自己の工場の労働組合化を甚しく嫌厭し、其れに氣付くや否や労働組合員を解雇する。かゝる状態に陥ると労働組合員は公然と組合員としては工場内に就業する事が出来なくなるので非組合員の假面を披つて工場の組合化を謀る場合がある。此れをするには勿論組合幹部の承認を得てやるもので該労働者は本名を使用せず僞名を以てするか、若くは本名を以てする際には組合の名簿から其れを取り去つて、秘密名簿に移してなす。かくして工場に紛れ込んでは、遂に連年幾が組合員に成つた場合に雇主に對してクロード・ショツプの實行を要求する。

かくの如く労働組合を嫌厭する雇主の所屬工場に對する手段は假面政策を以てするのも一方法であるが、時に依ると、非労働組合員に對して、労働組合が、恩赦若くは組合加入金の割引を以て組合加入を勧告する事がある。即ち従來組合員であつた者が不正行為の爲に組合の除名處分にあつて非組合員になつてゐるもの、若くは何等かの理由で組合の反感を買つて居るものに對し過去の組合に對する罪過を一切赦してやると云つて組合に加入を慫慂するのである。又一方組合の入會料が餘り高擧なる爲め組合にたざりしものに對して工場内の非労働組合員が關係的に或は場合に依つては個人的に加